OKAYAMA

あこがれのJリーガーも、ピッチの外ではやんちゃな少年のような一面をのぞかせる。ここでお届けするのは、選手のそんな素顔。「なんか、いいなあ」という選手を見つけたらスタジアムや練習場に行ってみよう。身近でふれあえるのは「Jのある街」だからこそ!

【オフシーズンスペシャル対談】

今シーズンこそ、ピッチで輝く!

カジュアルに楽しむ Jリーグな日々。
FAGIANO OKAYAMA BACK UP PROJECT

ファジ★カジ

大学卒業後、ファジアーノに加入した武田選手と松木選手。大学は違えどひとつ違いの先輩&後輩で、ポジションは同じFWだ。武田選手は2年目の昨季、天皇杯・千葉戦で待望のプロ初得点。いっぽうの松木選手はケガが重なり、治療&リハビリの日々。喜び、悔しさ、焦り、感謝…。さまざまな思いが交錯した昨季を振り返るとともに、新たなシーズンへの思いを語ってもらった。

――まずはお互いを紹介しあってください。

武田 まじめで、あいさつがちゃんとできる。あと声がでかくてハキハキしゃべる、という印象です。

――確かに、さっきお会いしたとき、目を見てきちんとあいさつしてくださいました。声が大きいのはプレイ中? それとも日常生活で?

武田 両方です。練習中も椎名くん(一馬選手)に負けないくらい、いつも大きな声を出してますし、普段の会話でも大きな声で歯切れよくしゃべります。

松木 僕、青森山田高校サッカー部出身なんですけど、チーム全体がエネルギッシュで、練習中もみんな声を出してて。それが当たり前になった感じです。

――どんな声を出すんですか?

松木 たとえば「切り替え、切り替え」とか「よっしゃ、いこー!」とか。当たり前のことなんですけど、声を出すと再確認できますし、自分自身の気持ちも上がる気がします。

――そういう声は、チームにとってプラスなのでは?

武田 耳元で叫ばれるとちょっとうるさいんですけど(笑)、雰囲気も締まりますし、いいと思います。

――では松木選手から見た武田選手はどんな人ですか?

松木 笑顔がかわいい! 小犬がしっぽ振ってるイメージじゃないですか?

武田 俺は犬か(笑)!

松木 人懐っこいっていう意味です。先輩に対しても後輩に対しても同じ感じで接してるのが、すごいなあと思います。あと、関西人なのでおもしろいです。

――役割的にはボケですか? ツッコミですか?

松木 ツッコミを入れてるほうが多いですが、誰もかまってくれないときは、ひとりでボケツッコミしてるときもありますね。

武田 (笑)

――オフはどんな風に過ごしていますか?

武田 同世代のチームメイトとご飯を食べにでかけることが多いかな。

松木 僕は逆に、休みの日は家で料理を作ることが多いです。岡山に来てひとり暮らしをするまで、自炊なんてしたことなかったんですけど。ケガしていたこともあって、栄養の勉強をして、食事についていろいろ考えるようになりました。

――どうやって料理を覚えたんですか?

松木 「クラシル」っていう料理のレシピを1分くらいの動画でわかりやすく教えてくれるサイトがあるんです。それを見ながら作ってます。料理って、やり始めると楽しいですね。

――武田選手は、料理は?

武田 唯一作れるのはチャーハンです。卵と米だけで作ります。だいぶうまいですよ! 嘘です(笑)。駿を尊敬します。

――松木選手は、プロサッカー選手になって驚いたことは?

松木 大学までは、常に全力で一所懸命やるのが自分のスタイルで、長所だと思ってたんですけど、プロになると、みんな力が抜けてて余裕があることに驚きました。力の入れどころと抜きどころを知ってるというか。

――具体的には?

松木 たとえば、隼斗くん(仲間選手)はドリブルでがーって仕掛けてても、ふっと緩めて相手のリズムを崩したりします。周りが見えてて余裕があるからだと思います。

――そのへんは経験を積むなかで身に付いてくるのかもしれません。武田選手は、プロ2年目を振り返っていかがですか?

武田 それこそ、俺も1年目は無我夢中で余裕がなかったですけど、今年は少し余裕もできて周りを見られるようになりました。むやみに動くのではなく、頭を使って動ける場面が増えてるかなと感じています。ベンチに入る回数も増え、レベルアップしている実感はありますが、試合にたくさん出たわけではないので、まだまだですね。

――昨季は天皇杯の千葉戦で、プロ初得点を挙げました。

武田 うれしかったです。チームメイトがすごく喜んでくれたのも、うれしかったです。自信にもなりましたし、周りからの信頼も生まれた気がします。調子も上がってきていたのに、そのあとケガをしてしまったのが残念でした。

――松木選手のプロ一年目は?

松木 シーズンイン前の12月に手術をして、ようやくピッチに戻れたのが6月でした。ところが直後のトレーニングマッチで、反対の膝を負傷してまた離脱。練習に復帰できたのは10月でしたから、本当に治療とリハビリの一年でした。

――心が折れそうになったこともあるのでは?

松木 先輩、コーチングスタッフ、監督、サポーターなどいろんな人に支えてもらったから乗り越えられたと思います。なかでも、同じ時期にずっと一緒にリハビリをしていた圭太君(後藤選手)には、感謝しています。常に淡々と黙々とリハビリを続けていて、ネガティブな言葉を聞いたことがありません。気持ちが落ちたときなどに声をかけてもらいました。

――では、それぞれの昨季をふまえ、今季にかける思いを漢字一字で表して教えてください。

武田 今季は、練習からもっと結果を意識して、積極的なプレイをしていきたいです。同時にプロとしてサッカーができるというのは幸せなことだと思うので、楽しみながらやれたらと思います。なので、漢字は「楽」にします。

松木 僕は「現」という字です。昨季感じた悔しさと、支えてくれた周囲のみんなへの感謝の気持ちを、ピッチでサッカーで表現したいです。ケガ続きだった一年を、今後のサッカー人生の中でプラスにしていくためにも、結果を出さないといけないと思っています。

――お2人は同じFWですよね?

武田 はい。でもタイプは違うんですよ。駿は縦に仕掛けて、フィジカルで相手の前に入りこんでいく感じ。

松木 拓真君は、相手を見ながらドリブルしてテクニックで抜いていく。

――Cスタで躍動するお2人の姿を、ぜひ見せてください。応援しています!

武田拓真

Profile(たけだ たくま)

1995.10.12生まれ　和歌山県出身　A型

ルーキーイヤーはJ2リーグ戦1試合出場。2年目の昨季はリーグ戦5試合、天皇杯2試合に出場。天皇杯でプロ初得点を記録した。

松木駿之介

Profile(まつき しゅんのすけ)

1996.10.24生まれ　神奈川県出身　A型

昨季、慶応義塾大学から加入。膝の負傷に泣かされ、プロ1年目のほとんどをトレーニングルームで過ごした。今季、復活を期す。